



## 放鳥トキの写真をパソコンの壁紙や

### 携帯電話の待受画面に使ってみませんか

放鳥トキの写真を、パソコンのデスクトップ壁紙と携帯電話待受画面でご利用可能となりました。

トキファンクラブのホームページからご利用できます。写真は、トキモニタリングチームが記録用に撮影した写真です。パソコンのデスクトップ用は、当月のカレンダーとトキ目撃情報専用フリーダイヤルが入っています。ご利用は無料で、自由にダウンロードできます。ご利用の際には、注意を守ってご使用ください。

**利用期間**  
 ・平成23年3月末まで  
 (毎月1回、月のはじめ頃に新しい画像に更新します)

**利用条件**  
 ・使用料は無料です。  
 ・画像の部分使用、修正、改変などは認められません。利用はパソコンのデスクトップ壁紙または携帯電話待受画面用に限ります。

**利用にあたっての注意**  
 ・写真は環境省の提供です。画像の著作権は環境省にあります。

・パソコン作業時のトラブル等に関する質問には対応できませんので、ご了承ください。

#### ダウンロードの方法

(トキファンクラブホームページから)  
<http://toki.sado.jp/fanclub/>

ご使用のパソコン、携帯電話の環境に合わせてダウンロードしてご利用ください。

①画像をクリックすると、大きな画像が出ます。

②大きな画像の上で右クリックし、「名前を付けて画像を保存」を選びダウンロードします。

(Windowsの場合)ダウンロード先は、使用されるパソコン、個人の設定により異なります。

#### お問い合わせ

トキ交流会館 ☎24-6040



携帯電話の待受画面にどうぞ!



## 世界遺産登録に向けて

佐渡市歴史的建造物  
 造物悉皆調査⑫

両津地区

### ○勝廣寺(両津湊)

勝廣寺は、天正元年(1573)に出羽国(現秋田県)浄願寺の僧道受と門徒6人が布教のため佐渡に渡り、両津地内に浄土真宗の道場を建てたのが始まりとされています。この寺は佐渡の鉾山と関係が深く、新穂銀山や鶴子銀山など、島内各地を転々としながら布教活動に努め、元和10年(1624)に現在の湊の地に移りました。新穂と野浦には、今も勝廣寺檀家と道場が存在し、当時の名残りを今に伝えています。

本堂は元禄14年(1701)の再建で、三連横並びの内陣や細い水平材といった、江戸中期の浄土真宗寺院建築の要素がよく残っています。また、山門は享保8年(1723)の建立と伝えられ、古風な妻飾りのデザインが印象的です。



勝廣寺本堂

である妙義尼が、夫亡き後、その冥福を祈るために開基したと伝えられています。寺には、夫本間山城守が妻妙義尼に宛てた



利濟庵本堂

相続に関する譲り状など、中世に遡る貴重な古文書類が残されています。

◆市役所 世界遺産推進課 ☎63-5136  
 本堂は、弘化4年(1847)の再建で、桁行10間・梁間8間という大規模な造りとなっています。堂内の彫り物も豪華で、裏には佐渡奉行所や島内の寺社建築にたずさわった「長坂番匠」とよばれる相川長坂町の大工の銘がみられます。このほか、山門・鐘楼・庫裏なども本堂と同時期の建築で、幕末の頃に二連の建物を建て替えるという大事業が行われたことがうかがえます。

### ○利濟庵(椿)

利濟庵は、応永年間(1394-1428)の創立とされる曹洞宗寺院で、吉住の地を治めていた本間山城守の後室

### 世界遺産 出張説明いたします

市民の皆さんが主催する世界遺産に関する勉強会や現地見学会(20名程度)などに、世界遺産推進課職員が出向き、お話・解説をします。事前にお問い合わせください。